

読書の小径

Vol.112
土岐市図書館
☎1253

新刊案内



「こんやはなんのぎょうれつ？」
オームラトモコ



「ふたごのしろくまーねえ、おんぶのまきー」
あべ弘士

街場の読書論	内田樹
働く大人の教養課程	岡田憲治
夫婦仲の経済学	ホーラ・シューマン (他)
農家のおすそわけー毎日食べたい、野菜料理114レシピー	三原葉子
商店街はなぜ減るのかー社会・政治・経済史から探る再生の道ー	新雅史
シューベルトの歌曲をたどって	ディートリヒ・フィッシャー=ディースカウ
燃焼のための習作	堀江敏幸
安楽椅子の釣り師	湯川豊／編



「自然」

夏休み真っ最中、自然に親しむ機会も多い季節です。今月は、自然の不思議に目を向けてみませんか。

谷本雄治『週末ナチュラルリストのすすめ』。南北に長く地形の複雑な日本に生息する多様な生き物を追って、週末に活動する「むしウォッチャー」である著者が、究極のズボラ流自然観察の奥義を大公開しています。観察の基本は手のひらサイズの生き物たちを「見る・拾う・撮る・飼う・知る」こと。高価な道具がなくても、わざわざ秘境に行かなくても、自然は十分楽しめるようです。バート・ヘルドブラー(他)『ハキリアリー農業を営む奇跡の生物』。切り取った葉で食用キノコを栽培し、二千部屋もある住居を構え、体の表面で抗生物質まで作り出す：地球上で最も人間くさく振る舞う驚くべき昆虫に、ピューリッツァー賞作家が迫ります。人間より何千万年も古く農業を始めたハキリアリの進化の歴史からその生態、巣を脅かす寄生菌との軍拡競争まで、幅広く解説しています。

フイリップ・ボール『枝分かれー自然が創り出す美しいパターン』。巻貝や銀河の渦、樹木や河川の分岐など、一見すると無関係に思える現象には隠れた規則があり、深いところでつながっています。古くは寺田寅彦が着目した割れ目、裂け目を扱う枝分かれの科学は、最新のネットワーク理論ともつながっているのです。自然に潜むパターンの数理を解き明かす3部作、「かたち」『流れ』に続く、完結の第3弾です。

9月の休館日

3日(月)、10日(月)、24日(月)～28日(金)

開館時間

火～金曜日 10:00～19:00
土・日曜日、祝日 10:00～17:00
図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

- ▷ ぎふ清流国体の開催も迫ってきました。前回の第20回岐阜国体は1965年に開かれましたが、当時の様子は「広報とき」393号に載っています。図書館ホームページの「デジタルアーカイブ」で公開していますので、ご覧ください。
- ▷ 臨時休館のお知らせ 蔵書点検のため、9月24日(月)から28日(金)まで臨時休館します。